

おぢばとようぼくをつなぎ ようぼく同士の絆を強めて

「天理時報」の普及・活用と 手配り活動の拡充へ

道友社の前社長である西浦先生は、まず、日頃の天理時報の購読、手配りひのきしんについてのお礼を述べられ、なぜ新聞をとるのか、それは自分たちの生活と社会・世間との接点を持つためだと思ふ。同じように、天理時報も我々の信仰と生活の接点であると話を始められた。

一昨年の十月二十五日におぢばで行われた『天理時報手配り十年ひのきしん者感謝の集い』において、真柱様は「これからも手配りひのきしんの輪を広げて、お互いの絆を強めるとともに、一人ひとりがぢばに心をつないで、手から手へと、親神様、教祖の



天理時報普及推進大会 西浦忠一先生講話(要旨)

発行所 〒790-0852
天理教愛媛教務支庁
松山市石手5丁目8-27
TEL 089-921-7372
FAX 089-932-3521

親心を選び、届けていくように」とお話し下さいました。このお言葉を受けて、本部の布教部と道友社で、活動方針を「ようぼく家庭にもれなく天理時報を」「手配りひのきしんで交友の絆を強めよう」というスローガンを定め、各地で天理時報普及推進大会を開催しています。

手配りの集いでの真柱様のお言葉で、「時報の手配りは、親神様、教祖の手足となって働かせていただいで、その親心を伝える一つの手段でもあると思う。」「この活動は『手配り活動』と呼ばずに『手配りひのきしん』とさせていただきます。」「とお話し下さいました。

つまり、手配りというのは報恩感謝のひのきしん、御恩報じの御用であります。手配りはようぼくの皆さんに御恩報じていただく一つの手段であります。

この十年で手配りのひのき

しんは、目標の50%を超えることが出来ました。しかし天理時報の発行部数は現在十萬四千部です。実数からいえば十萬を切っています。深刻な状況。教祖百年祭前には三十萬部というピークでした。もちろん、道友社の努力は欠かせませんが、時報の普及、増部には皆様方のお声かけをいただいで、意識を高めていきたい。何とかそれぞれの教会が一部でも増部させてもらおうという気持ちになっていただきたい。そのためには教会長さん方が時報を隅々まで読んでいただくことが大切であります。

また、集いのお言葉で「およそ道を信仰している私たちの活動はすべて、ぢばにつながってこそ発展の御守護を頂けると思う。」「とお話し下さいました。

天理時報の第一義は、ぢばの声、親神様、教祖の親心を伝えることあります。時報

を購読することはおちばに
つながらることだと思ふ。逆に言
えば、時報を購読しなければ、
おちばに つながる一つの手立
てをみすみす失つてしまふの
ではないかと思ふ。

時報は週に一度おちばから
届けられる教祖からのお手紙
であると思ひます。記事を読
むことで暮らしの糧や勇みを
頂くことが出来ます。手配り
ひのきしんでつながる縁は、
身上・事情の時、心強い頼り
になるものです。さらにこの
時報は育成・丹精の上にも重
要な働きをすると思ひます。

特に人口流動が激しい現在、
若者が都会に出て行きやすく、
おちばの親心のこもった時報
が若者の手に届けられるとい
うことは、信仰的にも大きな
意味があると思ふ。

読者の広場に掲載された八
王子で働く二十三歳の方のエ
ピソードを紹介。

アパートに緑色のフィルム
包装の天理時報が届いた時、
私の所にも手配りしてくれて

いると気付きました。五年前
に天理高校を卒業し、上京し
て二年。いつも身近に感じて
いたおちばの雰囲気を知りた
くなり、時報を購読し始めま
した。手配りをしてくれてい
る教友の存在を知り、心強さ
を感じています。まずはひの
きしんの方にお礼を言い、そ
の方を通じて地域の行事にも
参加したいと思ひます。

続いて、宮城で教会長をつ
とめる信仰初代の女性の話。
学生時代に中国に留学した折、
共同生活をしていた八人のう
ち三人の所に毎週、天理時報
が届いていた。日本語に飢え
ていた彼女は意味もわからな
いまま、何度も読んでいるう
ちに分かったことがあった。

一つはおちばに行くとか何か
いいことがあるらしい。もう
一つは、修養科に行くとか何か
奇跡があるらしいということ
が分かった。その後、お道の
方と縁があつて結婚。教会
長へと歩む元となつたのは時
報との出会いがあつたからな

のです。

地方の教会から所属のよう
ばくが都会へ出た場合には、
丹精・育成の一貫として、時
報の購読をすすめてもらいた
い。これが間髪入れず、丹精・
育成に本気で取り組むという
ことになってくる。

また、手配りの一層の推進
をはかる上では、まだまだ多
くの人が必要であります。

手配りに関わりたい人は地
域にたくさんおられると思ひ
ます。なかなか一歩踏み出せ
ずにいた人が、たまたま玄関
先で手配りをあなたもやって
みないと薦められて、手配り
を行うようになった。やはり
声掛けが大事。もう一押しで
動いてくださる方も大勢おら
れると思ひます。

声掛けは三回までは連絡で
す。四回目からが丹精になる。
何が何でもという声掛けが丹
精につながると思ひま
す。

真柱様が「手配りの輪を広
げて、お互いの絆を強めると

ともに、一人ひとりがちばに
心をつないで、手から手へと
親神様、教祖の心を運び届け
てくれますことを願う」とい
う言葉にまっすぐお応えさせ
て頂きたい。

お道の教えがいくら素晴ら
しくても、人と出会わなけれ
ば伝わらない。胸から胸へ伝
え、動くことが大切。じつと
してはだめ。をやの思ひ
を知らない人たちに、私たち
が声をかけていかなければ伝
わらない。一言の声掛けが人
の運命を変える。勇気を出し
て動くことが大切であります。

一人でも多くの人に声をか
け、おたすけの現場をお与え
いただき、手配り・時報の新
規購読者を増やしていくのも
おたすけであります。

御恩報じこそ成人の道。こ
の道を楽しんで、教祖にお喜
びいただける道を歩ませて頂
きたいと思ひます。

【立教一八一年十二月一日】

西日本豪雨被災地へ二度目の炊き出し

西宇和支部婦人会

西宇和支部婦人会（二宮幸代主任）は、11月の大洲市徳森仮設住宅に続いて、2度目となる炊き出しを12月8日、11時より、大洲市肱川町の肱川公民館3階集會室にて行いました。

この地区は鹿野川ダムのすぐ下流にあり、昨年7月の豪雨とダム放流で水位が上がり多くの建物が水に浸かりました。今回の公民館も2階まで浸かって使用不能のため、3階をお借りしました。

エレベーターも故障して使えない中、3階まで階段で約80名の方がお越し下さり、牛丼、サラダ、ふかし芋、プリン、コーヒー紅茶、みかん、キウイフルーツなどのメニューを、会場で召し上がる方、持ち帰る方いろいろでしたが、お年寄りから子ども達まで

とても喜んで頂いたと思います。ふかし芋、みかん、キウイフルーツは近隣教会から提供頂きました。

まだまだ復興途上で自宅に帰れない方、自宅の2階で生活される方なども多くあり、この炊き出しが地元の方のコミュニティの場ともなり、懐かしそうに楽しそうに会話が弾んでいたのが印象的です。一日も早い復興・復旧を念願しております。ご協力下さいました他支部の皆様には紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



福 祉 部

【教区手話勉強会】案内

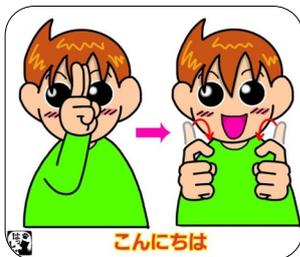
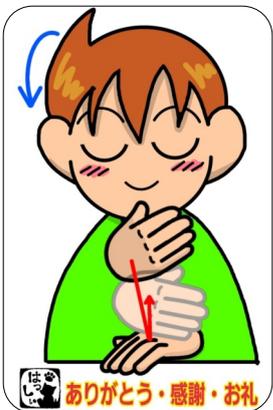
ご存知の方もおられるかもしれませんが、現在、本半月次祭の時、西境内地地下の境内掛屯所前にて、てをどり後半下の時に地歌の字幕表示、神殿講話の時に手話通訳と字幕表示が行なわれています。

聞こえないということは、日常生活の中で色々な不便が生じ、時には誤解や事故につながる場合があります。全てがマインスマばかりではありませんが、聞こえる人と聞こえない人がお互いに理解をするためにも、「聞こえないとはどういうことなのか」「手話とはどんなものか」を知っていただけたらと思います。

全く初めての方でも大丈夫です。教務多忙な日々ではありますが、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日は、支部福祉担当者か教務支庁までお問い合わせください。

教務支庁にて午前10時から12時まで行なっています。



天理直行高速バス

3月添乗担当者 菅 直樹

090 3461 8695

高速バス専用携帯電話

080 2091 7372

諸 願 書 受 理

〔法人関係諸願書届〕

和香伊予分教会(高知)

▽代表役員変更登記完了届

計 報

次の方がお出直しされました。慎んで哀悼の意を表し、その労をお懐い申し上げます。

篠崎 順子さん 享年80才

大瀬分教会長(高岡)

出直日 立教182年1月14日

濱田 吉彦さん 享年75才

幸穂分教会長(高岡)

出直日 立教182年1月25日

二宮 信彦さん 享年84才

宮和分教会前会長(高知)

出直日 立教182年1月28日

一れつ会寄付金報告

2月10日現在

宇摩支部 1件 10、300円

新居浜支部 32件 98、000円

道前支部 3件 3、000円

今治支部 12件 15、000円

松山北支部 1件 1、500円

松山南支部 2件 4、000円

松山西支部 2件 11、000円

松山東支部 3件 18、000円

喜多支部 1件 3、000円

西宇和支部 11件 30、000円

宇和島支部 12件 29、000円

教区一れつ会より

立教百六十五年十一月より各支部に開設いたしております一れつ会寄付金窓口であります。皆様方のご協力を賜り、件数も大幅に増え、感謝致しております。

今後共、個人、教会、団体での尚一層のお心寄せの程、宜しくお願い申し上げます。

修理人巡教 予定

3月 新居浜支部

教区の予定(3月)

1日 主事会・常議会

事後丹精行事会議

松山南支部 例会

学生担当委員会例会

2日 松山東支部 例会

4日 松山北支部 例会

7日 教区祭

青年会例会

12日 教区報編集会議

17日 音訳講習会

23日 女子青年例会

教区輸送会議

少年会 わかぎのつどい

29日 学生担当委員会例会

主事会・常議会

R182 愛媛教区学生会

春の学生 おちほがえり

趣 旨：道につながる学生が、一人でも多くの仲間と共におちほに集り、学生にくださる真柱様のお言葉を心に治め、日々の生活を通る上での指針とする。さらに、をやの思いを求め、共に道の次代を担うようほくへと成人することを誓い合う場とする。

スローガン：「次代を担うようほくへ」

日 程：3月27日～3月29日

宿 泊：伊野詰所 TEL 0743-63-3111

参 加 費：12,000円(全日程参加の場合)

片道のみ・現地参加OK(ごちからの場合はご相談ください)

参 加 対 象：高校生(新1年生を含む)・大学生・短期大学生

専門学生・大学院生など

携 行 品：着替え・動きやすい服装・靴・洗面具・体育館シューズ

はっぴ(持っている人)・保険証コピー・27日の昼食

日 程	3月27日	3月28日	3月29日
内 容	8:30 宇和島発 10:00 松山発 今治発 12:00 川之江発 17:00 天理着 夕づつめ終了後 前夜祭	10:00 式典 真柱様のお言葉 直屬アワー・別席 自由時間 教区TIME	四国7ローカ交歓会 12:00 天理発 17:00 川之江着 19:00 松山着 20:30 宇和島着

申込・問い合わせ先：各支部学生担当委員
申込締切 3月20日 まで
お気軽に連絡下さいませ☆★

立教182年 春の学生 おちほがえり 次代を担うようほくへ

3月26日・27日 立教182年(中蔵3日付) 3月26日・27日 立教182年(中蔵3日付) 3月26日・27日 立教182年(中蔵3日付)

立教182年(中蔵3日付) 3月26日・27日 立教182年(中蔵3日付) 3月26日・27日 立教182年(中蔵3日付)